

自覚症状がなかったとしても…

診察によって重大な疾患が見つかるかも

病院は苦手だとか嫌いだと言っ
てなかなか診療を受けない方も多
いようですが、しびれや痛みがな
かなかとれず、病院を訪ねた結
果、重大な疾患が見つかること
も少なくありません。

先日も友人の奥様が顔の軽いし
びれが続き、勧められて脳外科
の診療を受けたところ、脳動脈
瘤の可能性があるとわれ、検査
入院し、より詳細なMRI検査に
より、脳動脈瘤と診断されたま
した。幸いに2mm程度であつた
ため、即手術とはならず、経過
観察となりました。

厚生労働省の発表した「平成23
年度 受療行動調査（確定数）の概
況」で、「自覚症状があつた」と
回答した人について、症状を自
覚してから受診までに要した期
間をみると、「1週間以上1ヶ月
未満」が18.1%で最も多く、
次いで、「1日～3日」が17.8%
となっています。

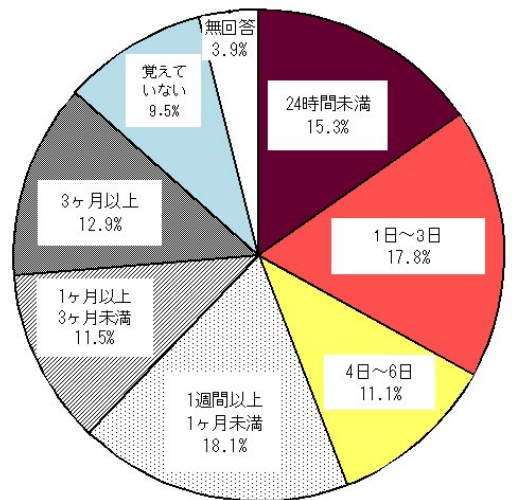
また、受診までに要した期間

が「1週間以上」の人について、
受診までに時間がかかった理由
をみると「まず様子を見ようと思
った」が62.6%で最も多く、
次いで、「医療機関に行く時間の
都合がつかなかった」が17.1%

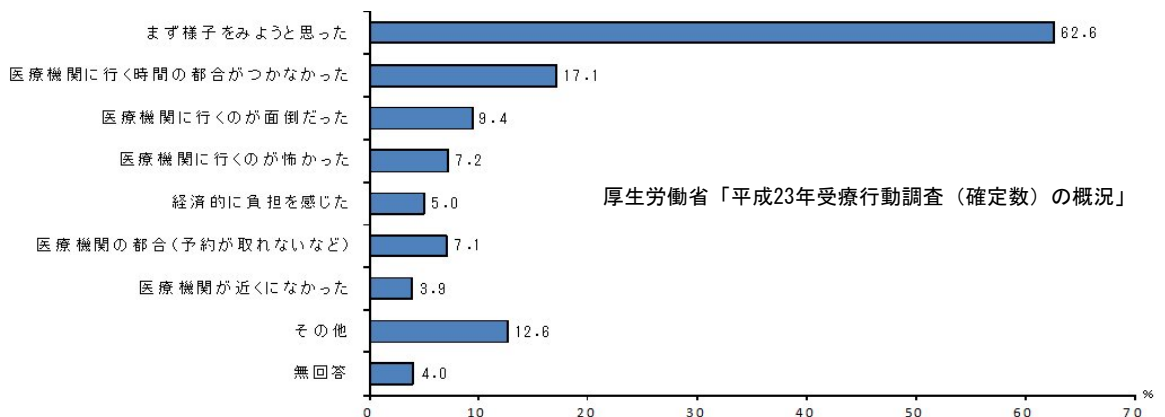
となっています。
主な傷病分類別にみると、「自
覚症状がなかった」の割合が多
かったのは、「新生物」40.8%
、「内分泌、栄養及び代謝疾患」
40.4%などとなっており、新
生物の中では、「気管、気管支及
び肺の悪性新生物」が54.9%
、「前立腺の悪性新生物」

53.8%、「胃の悪性新生物」49.9%
、「肝及び肝内胆管の悪性新生物」
42.9%などとなっています。

受診までの期間（自覚症状があつた者のみ）



受診までに時間がかかった理由（複数回答）（基本集計）
（自覚症状があつた者で受診までに1週間以上かかった者のみ）



厚生労働省「平成23年度受療行動調査（確定数）の概況」

(注) 1. 「受診までの期間が1週間以上かかった」者を100とした割合である。
2. 岩手県、宮城県及び福島県を除いた数値である。
3. 外来患者について調査した数値である。